

1 人口等の状況

(1) 人口・世帯の推移

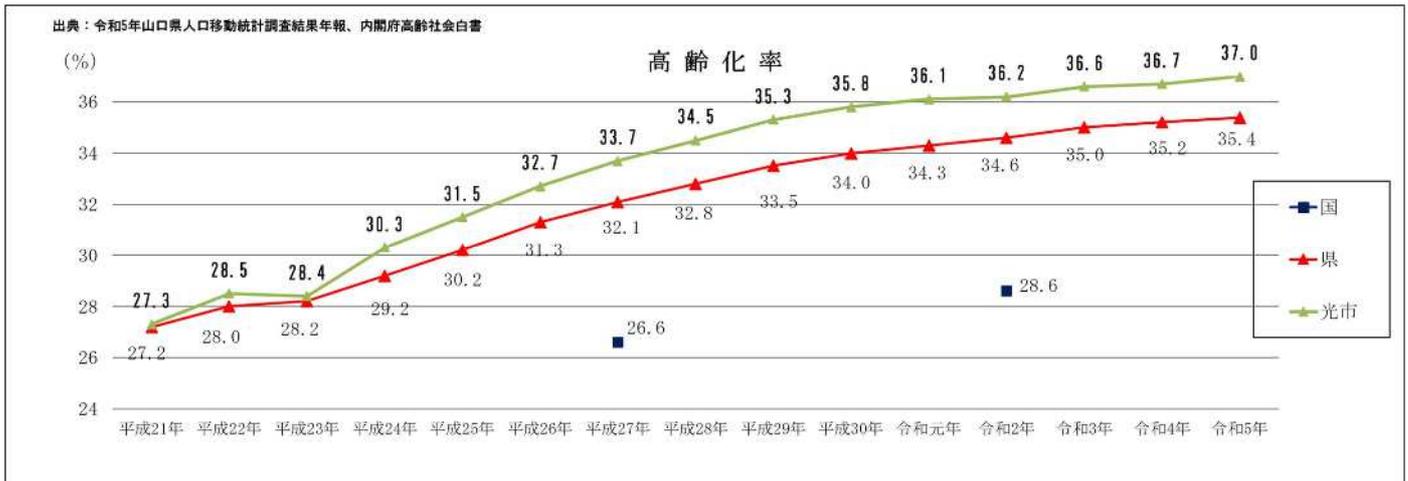
人口は減少傾向にあり、令和5年には49,233（令和元年51,081人）となっています。世帯数は令和元年に比べ若干増加傾向ですが、1世帯あたりの人員は減少傾向が続いています。



出典：令和5年度版光市統計書

(2) 高齢化率

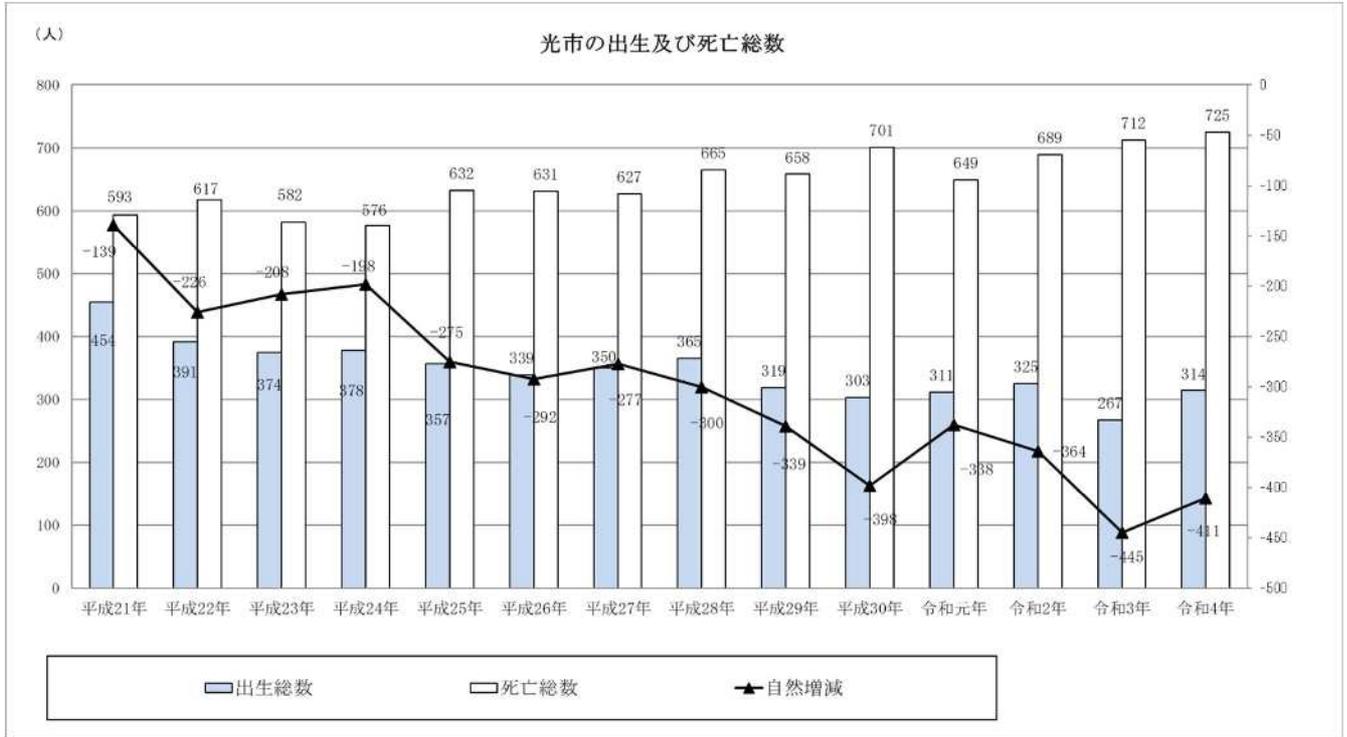
高齢化率は、平成24年に30%を突破し、令和5年に37%と高齢化が進んでいます。



(3) 出生・死亡の推移

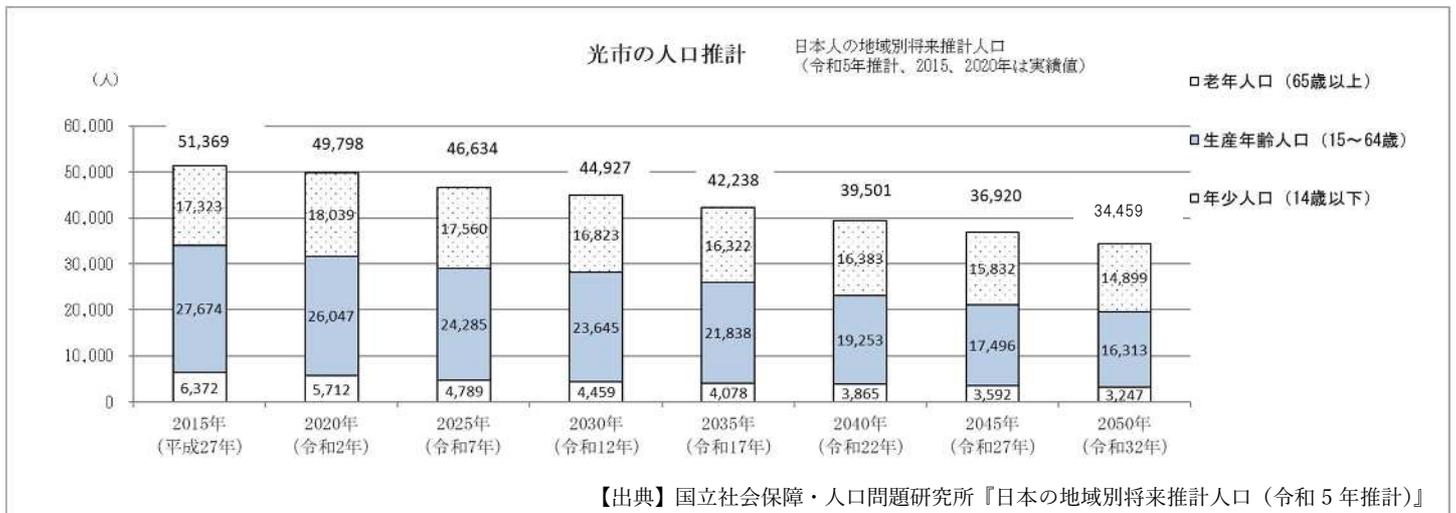
出生は平成22年に400人を下回り、令和3年には300人を下回りましたが、令和4年の出生数は314人と微増の状況です。

依然として、死亡数が出生数を大幅に上回り、自然減となっています。



(4) 推計人口

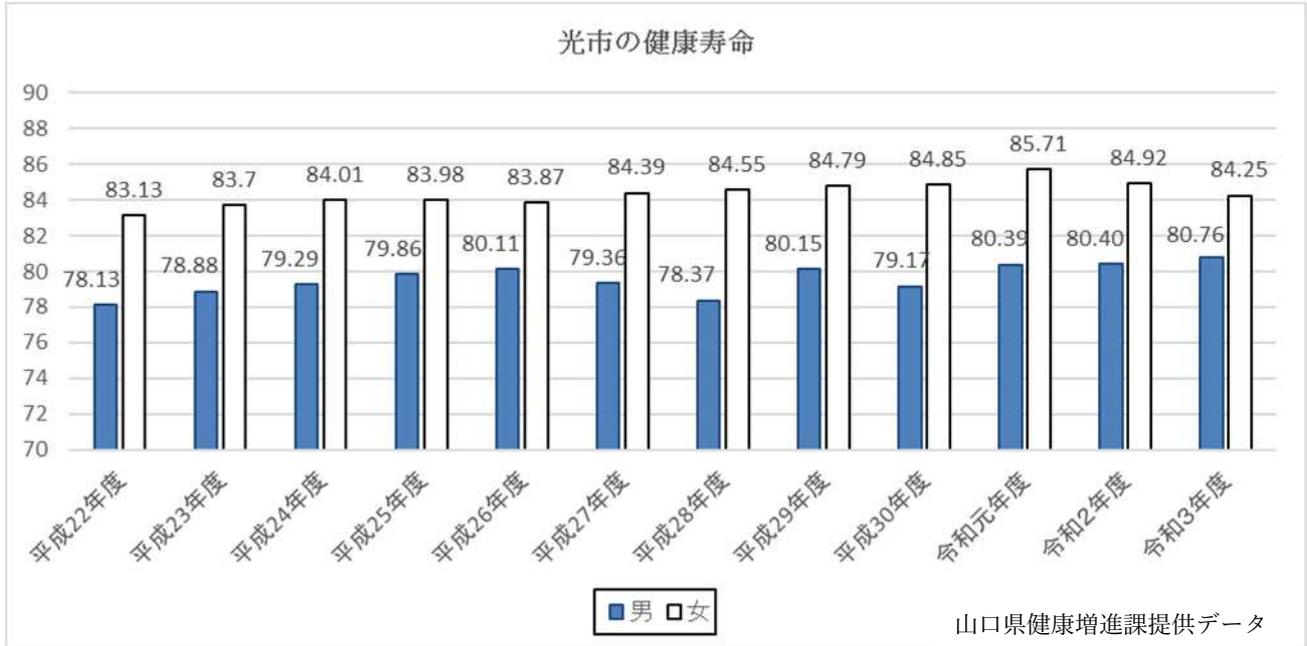
人口は年々減少し、2030年（令和12年）には44,927人、2040年（令和27年）には40,000人を下回り、少子高齢化が進んでいく予測がされています。



2 健康を取り巻く状況

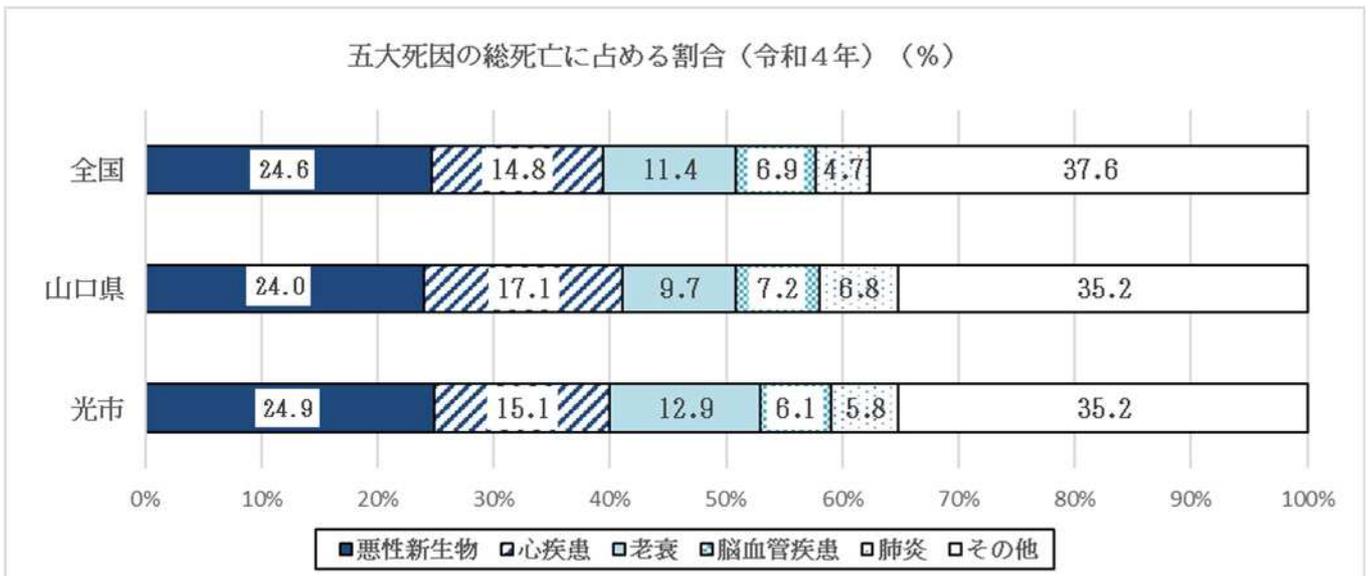
(1) 健康寿命（国が実施する「国民生活基礎調査」に準じた算出方法で県が算出しているデータを使用。）

光市の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、計画策定した平成28年は男性78.37年、女性84.55年でした。令和3年は男性80.76年、女性84.25年と5年で男性は2.39年延伸、女性は横ばいの状況です。

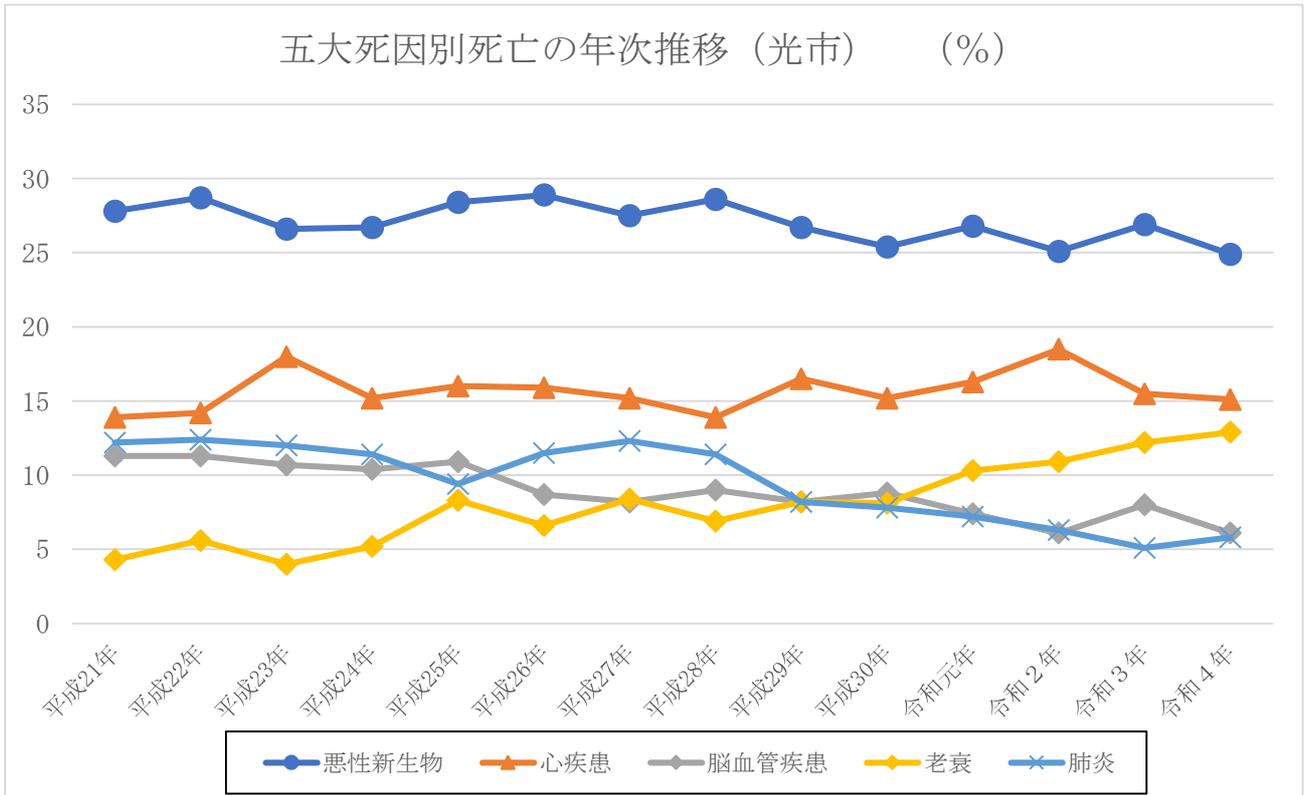


(2) 死亡原因

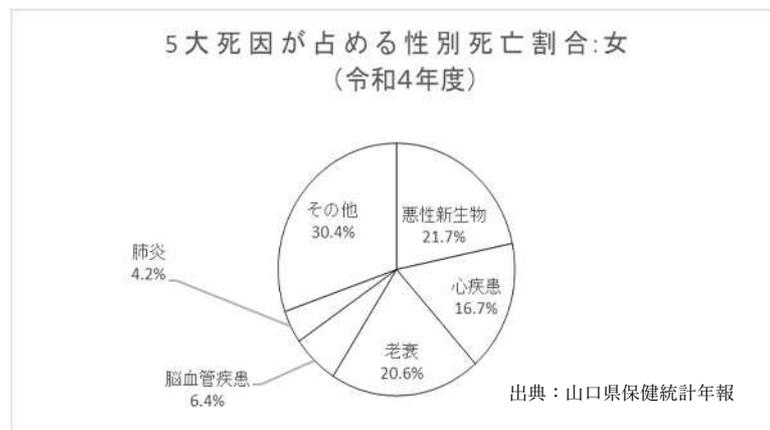
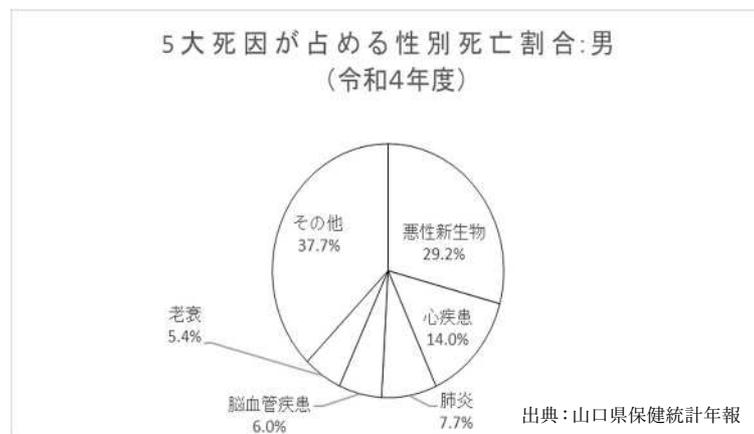
本市の悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患、老衰、肺炎の五大死因による死亡は、全国・山口県と同様に死亡全体の約7割を占めています。なかでも、約25%が悪性新生物と最も高く、これは平成30年の結果と同様となっています。続いて心疾患、老衰と続きますが、平成30年の結果では、心疾患の次に脳血管疾患となっていたため、死亡原因については老衰が数を伸ばし、脳血管疾患や肺炎を追い抜いている状況です。



出典：山口県保健統計年報



出典：山口県保健統計年報

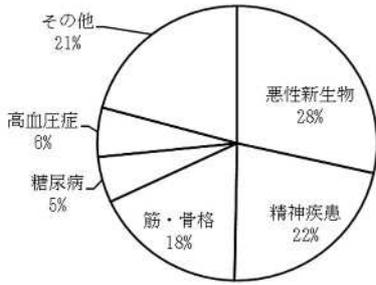


(3) 診療状況（光市国民健康保険）

令和5年度の最大医療資源傷病名による医療費割合では、悪性新生物 28%（令和元年度 31%）、精神疾患 22%（令和元年度 18%）、筋・骨格 18%（令和元年度 16%）となっており、精神疾患、筋・骨格の割合がやや増加しているものの、その他疾患の割合が減少しています。

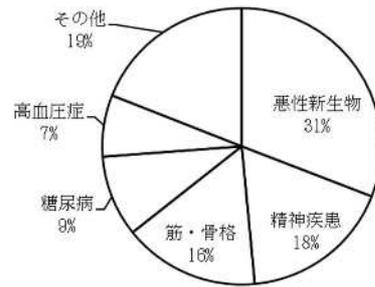
近年の光市の状況は、山口県や同規模保険者、全国と同様の傾向となっています。

光市の医療費割合（令和5年度）



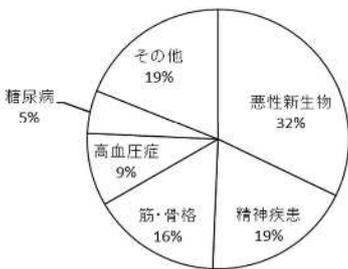
出典：国保データベース（KDB）

光市の医療費割合（令和元年度）

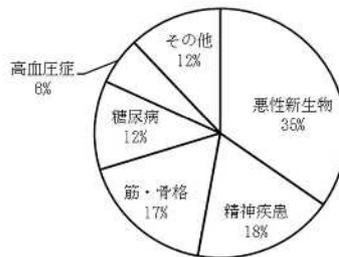


出典：国保データベース（KDB）

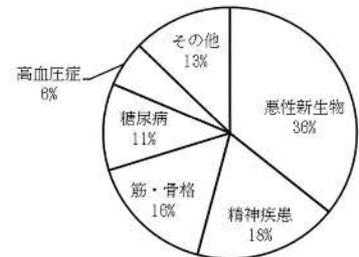
山口県の医療費割合（令和5年度）



同規模の医療費割合（令和5年度）

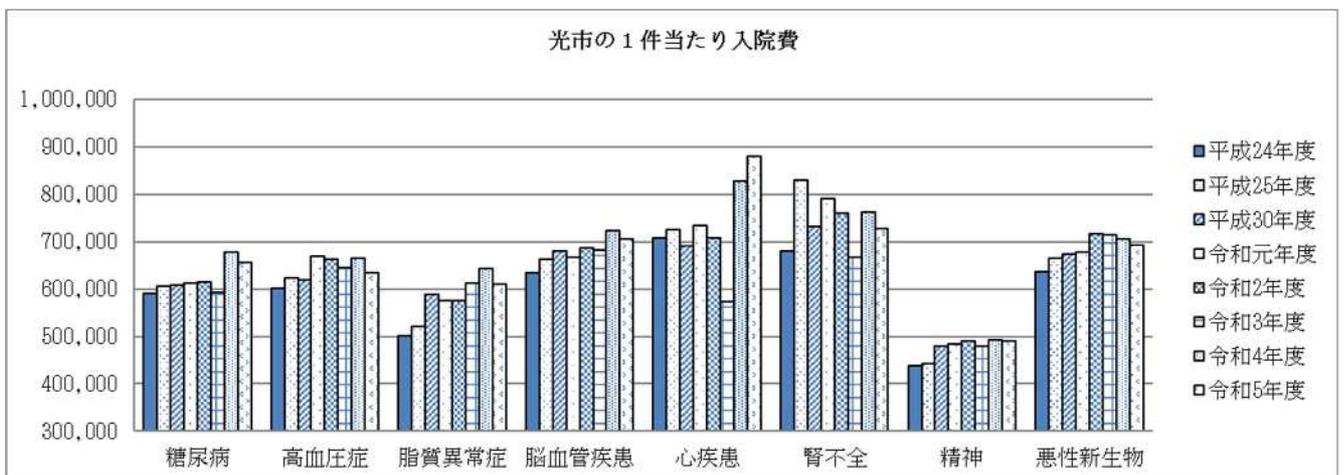


国の医療費割合（令和5年度）



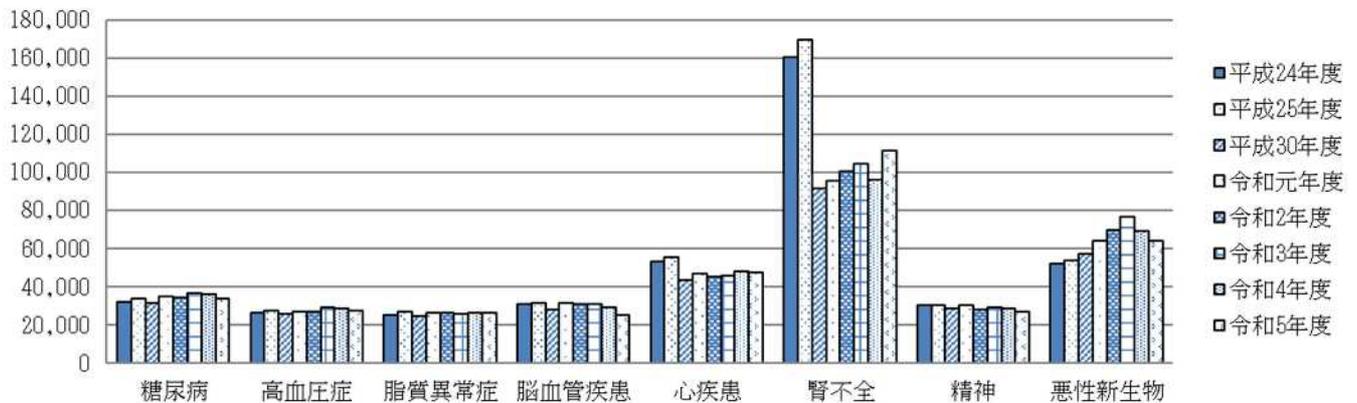
出典：国保データベース（KDB）

光市国民健康保険での1件当たりの入院費をみると、5年前に比べると腎不全による医療費は減額しており、心疾患、糖尿病、脂質異常症、脳血管疾患等の医療費が増加しています。



出典：国保データベース（KDB）

光市の1件当たり外来費

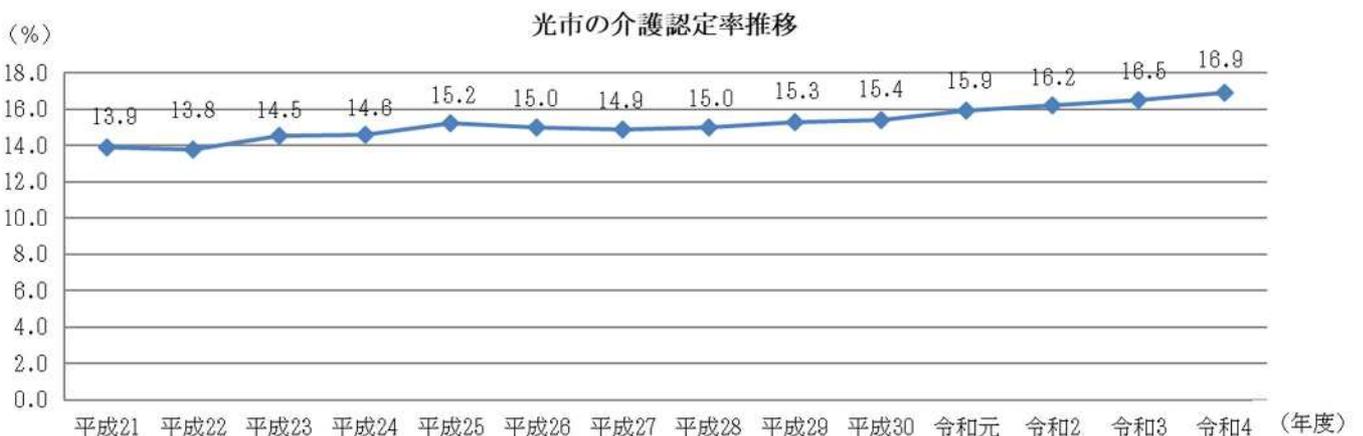


出典：国保データベース（KDB）

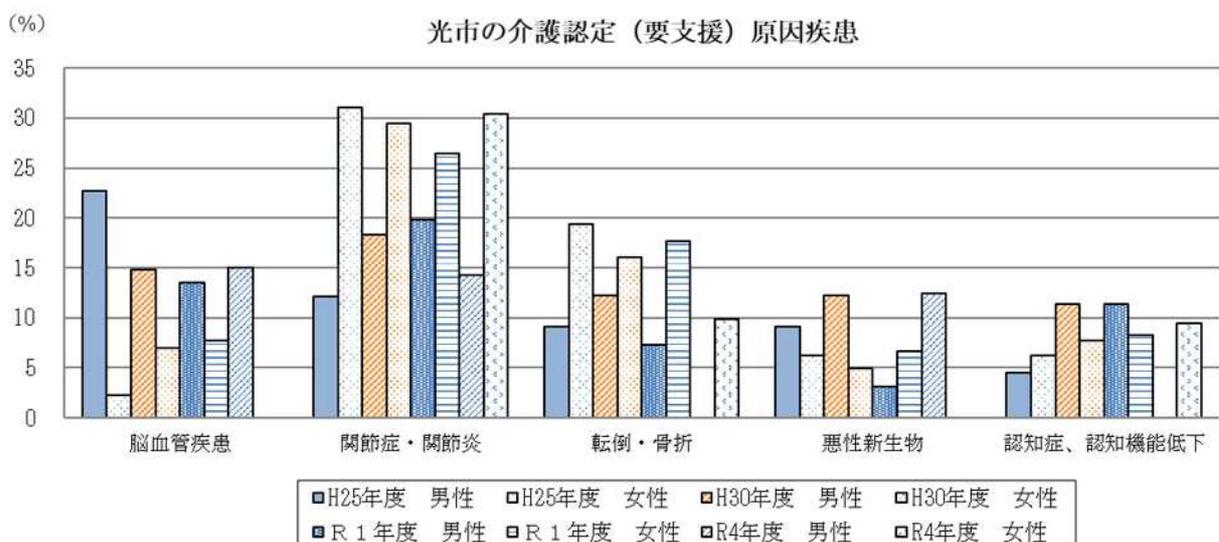
(4) 介護認定状況

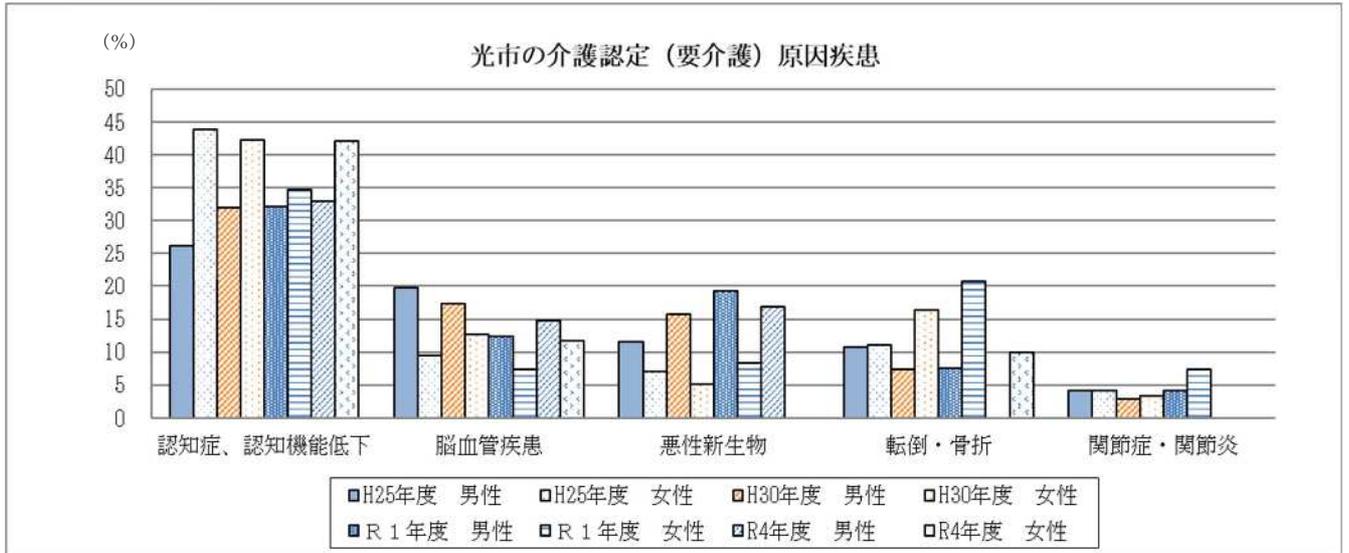
ア 介護保険、要介護（要支援）認定者の状況

介護認定率は年々増加傾向です。



イ 原因疾患





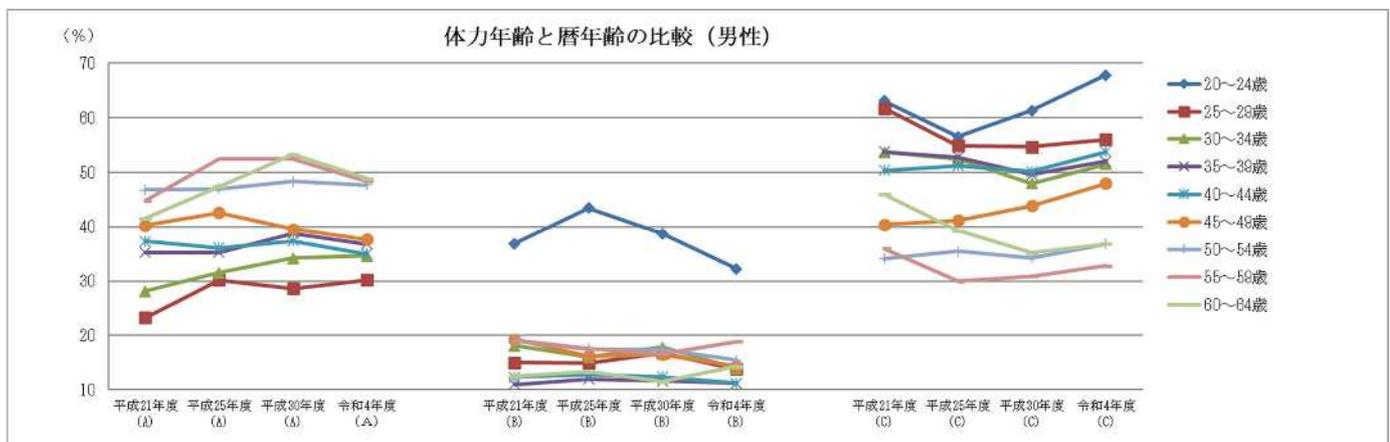
3 運動について

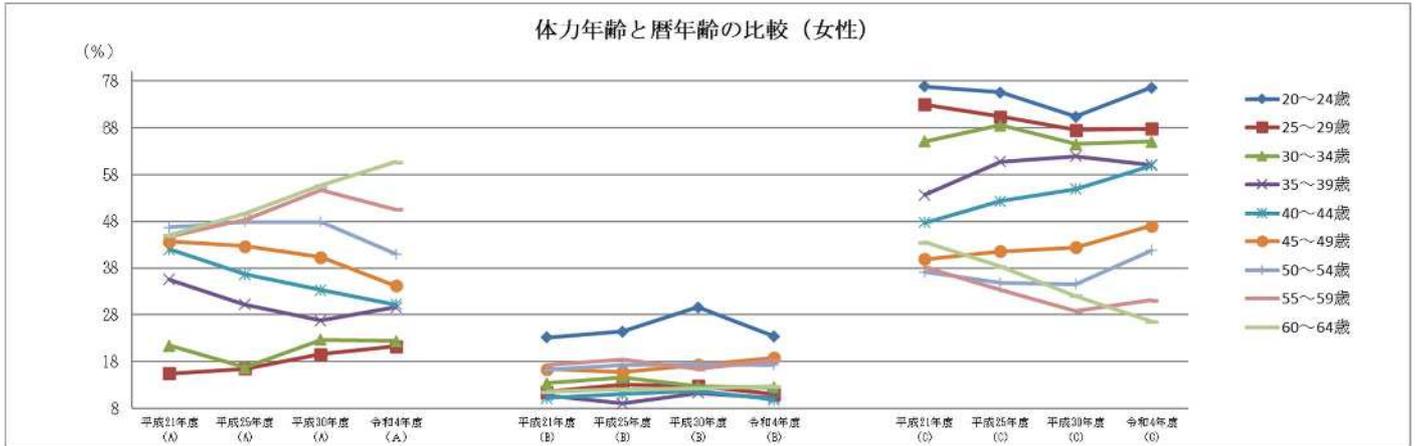
(1) 子どもの体力状況

	男子					女子				
	小5	小6	中1	中2	中3	小5	小6	中1	中2	中3
握力	◎	×	◎	○	◎	○	○	○	○	○
上体起こし	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○
長座体前屈	○	○	×	○	◎	○	○	○	○	×
反復横とび	×	×	○	○	◎	◎	×	◎	○	○
持久走	/	/	×	×	○	/	/	×	○	○
20mシャトルラン	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
50m走	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	×	×	○
立ち幅跳び	×	○	○	○	◎	◎	○	×	○	○
ハンドボール投げ	◎	×	○	×	○	◎	○	○	○	○

◎全国、県平均より上回る ○どちらか一方で上回るまたは同じ ×すべて下回る
 出典：令和4年度 光市新体力テスト統計資料

(2) 成人の体力状況（令和4年度体力・運動調査結果／スポーツ庁 全国の状況より）





(A) 体力年齢<暦年齢

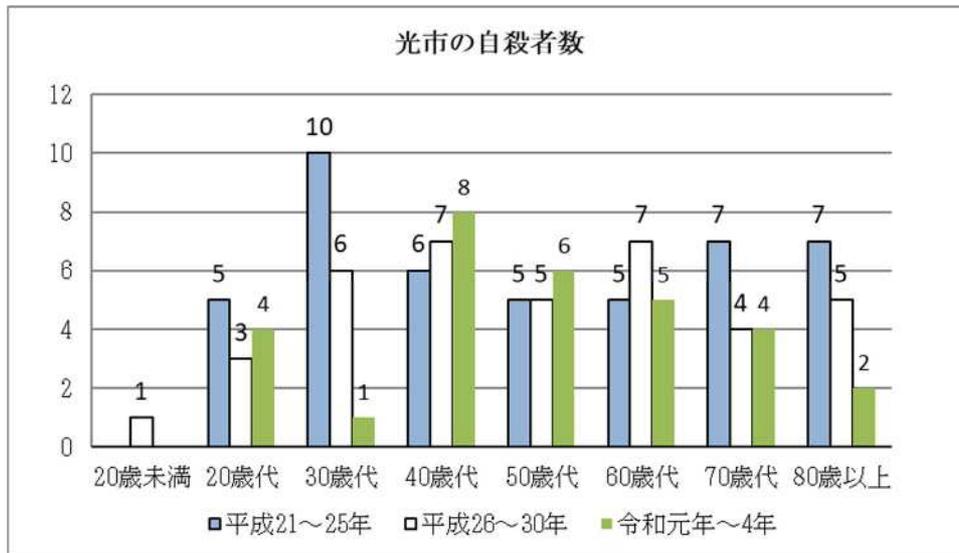
(B) 体力年齢=暦年齢

(C) 体力年齢>暦年齢

全国的に、男性・女性ともに暦年齢より体力年齢が上回る状況です。

4 こころの健康について

(1) 自殺者の状況 (数および年齢別)



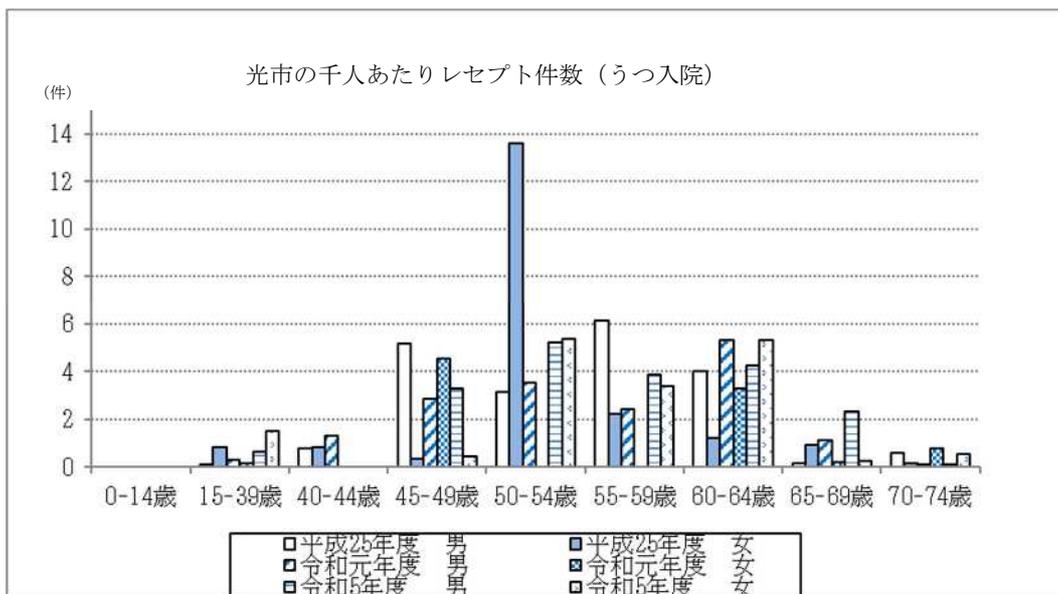
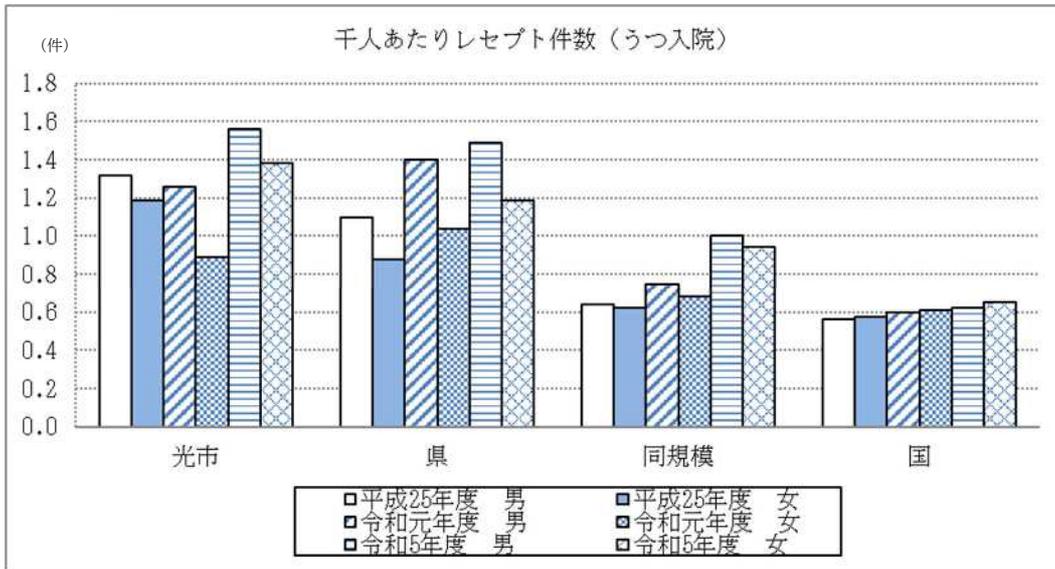
出典：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

自殺者数は平成24年をピークに減少傾向で、令和4年はここ10年間で最も自殺者数が少なくなっています。

令和元年から令和4年の4年間の自殺者数を年代別で表すと40代に多い状況です。

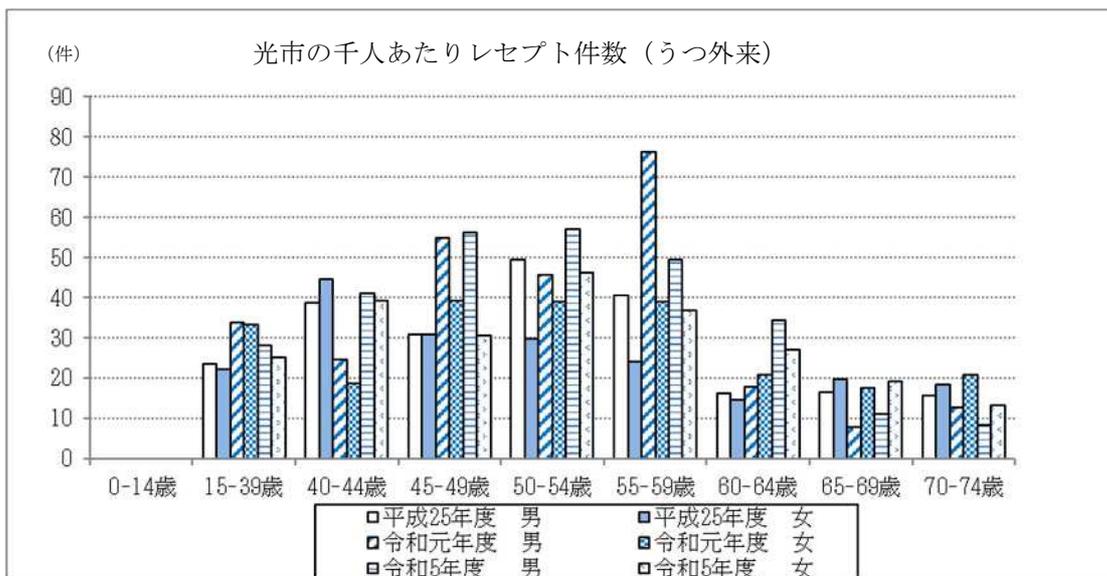
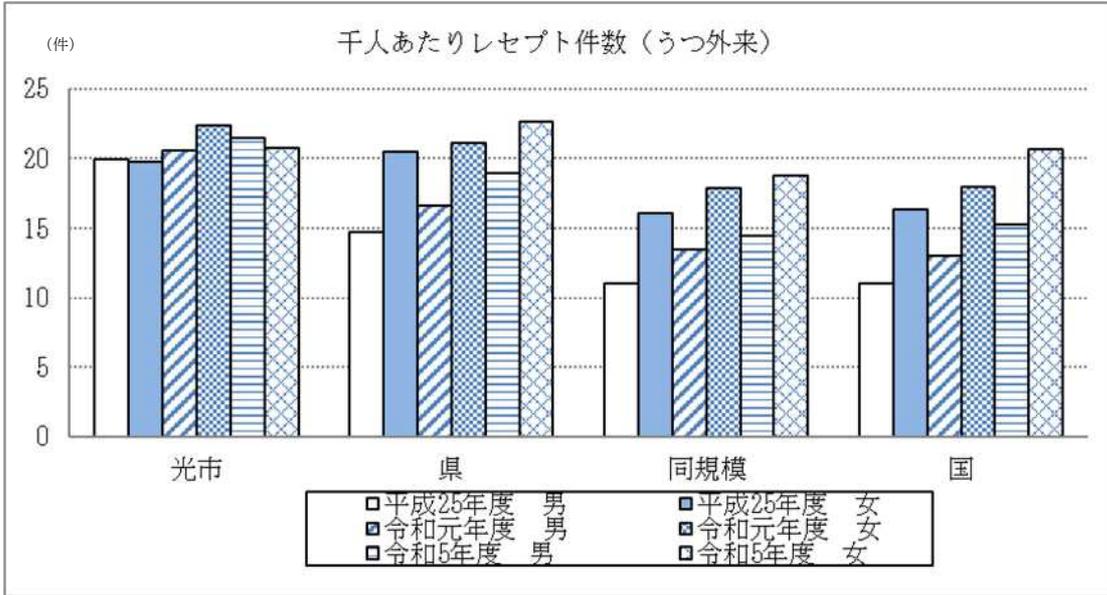
(2) うつ病の診療状況 (出典：国保データベースシステム (KDB))

ア 入院



入院においては、診療件数が県、同規模の市町、全国に比べ多い状況です。
令和5年度においては、50-54歳の男女及び60-64歳の女性が多い状況です。

イ 外来



外来においては、男性の診療件数が県、同規模の市町、全国に比べ多い状況です。
 和5年度においては、45-49、50-54歳の男性が多い状況です。